

医学研究実習 学内ポスター発表会で発表しました！

平成 26 年 11 月 21 日の午後 2 時 30 分から、新潟大学医学部の大講義室において、今回の医学研究実習のポスター発表会が開催されました。

私たちの魚沼市羽川地区でのアンケート調査も、「豪雪中山間地域における高齢者の生活環境と健康に関する聞き取り調査」と題して発表しました。

発表は、今回のアンケート調査のサマリー編と、新潟市でのアンケート調査との比較編の 2 部構成としました。

地区の中には、いわゆる限界集落もあるのですが、調査からは、羽川地区はご近所付き合いが活発で互いに助け合って生活しているため、閉じこもりやうつが少なく、地域への信頼度も高かったです。こういったことが集落を維持する源になっているのではと思いました。また、体を動かしている人や肉魚を食べる人が多く、実際に訪れた際の印象も、活動的で元気な方が多いと感じました。愛着のあるその土地で暮らしていくために、自分でできることはできる限り自分で行き、困っている人がいたら助け合うことで、町から離れた不便な土地柄であっても元気に暮らしていると考えました。

私たちのブースには各科の教授をはじめたくさんの先生にお越しいただき、色々質問をしていただけました。これからも「新潟のソーシャルキャピタルを考える 2015」や「プライマリ・ケア連合学会学術集会」で発表を予定していますので、今回の発表で頂いたご質問・ご意見をもとに、さらにブラッシュアップしていきたいと思えます。

